

2026 年 1 月 28 日
株式会社アマダ

3次元レーザ統合システム「ALCIS-1008e」が

第68回(2025年)「十大新製品賞 本賞」を受賞

多様なレーザ加工の集約と、ブルーレーザによるヘアピン溶接技術が高く評価



左: 日刊工業新聞社 代表取締役社長 神阪 拓 氏

右: 代表取締役社長執行役員 山梨 貴昭



3次元レーザ統合システム

「ALCIS-1008e」

株式会社アマダ(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長執行役員: 山梨 貴昭)が開発した、3次元レーザ統合システム「ALCIS-1008e」が、日刊工業新聞社が主催する第68回(2025年)「十大新製品賞」において「本賞」を受賞しました。これに伴い、2026年1月27日に東京都内にて贈賞式が執り行われましたのでお知らせします。

「十大新製品賞」は、その年に開発・実用化された新製品の中から、モノづくり産業の発展や日本の国際競争力の強化に大きく貢献した製品を選定・表彰する伝統ある賞です。なかでも「本賞」は、応募製品の中から特に優れた10製品前後に贈られます。

「ALCIS」は、ブルーレーザとファイバーレーザの2種類のレーザ発振器が搭載でき、切断、溶接、積層造形といった多様なレーザ加工を、1台のマシンで可能にした3次元レーザ統合システムです。今回受賞したブルーレーザ・スキャナーヘッド仕様の「ALCIS-1008e」は、EV用モーターにおける平角銅線のヘアピン溶接や、バスバーの溶接加工に最適化されたシステムです。

選考においては、レーザの可能性を追求し、多様なレーザ加工を単一のシステムに統合した開発姿勢に新規性が認められました。また技術面では、銅に対する吸収率がファイバーレーザより10倍以上高いブルーレーザを採用し、高速・高品位な溶接を実現したスキャナー加工技術の獨創性が評価され、今後の製造現場における高い市場性が期待されています。

「ALCIS」は、当社が培ってきたレーザ開発の技術と経験を結集し、レーザの活用領域を従来の板金加工のみならず、新たな領域へ拡大することを目指して開発しました。今後もお客さまの課題にお応えし、「ALCIS」のシリーズ展開を進めることで、モノづくりの新たな価値創造に挑戦してまいります。

ご参考

ALCIS-1008eの商品情報は以下サイトにてご覧いただけます。

<https://www.sheetmetal.amada.co.jp/lineup/laser-is/alcis-1008e/alcis-1008e.html>

以上

※ 掲載の情報は予告なく変更される場合があります